



JFE

JFEスチール 海外事業戦略説明会

2025年8月8日

JFEホールディングス株式会社

証券コード：5411

1. JFEスチールの海外事業戦略

- 収益目標
- インドのOrganic Growth

2. 方向性電磁鋼板製造能力拡張

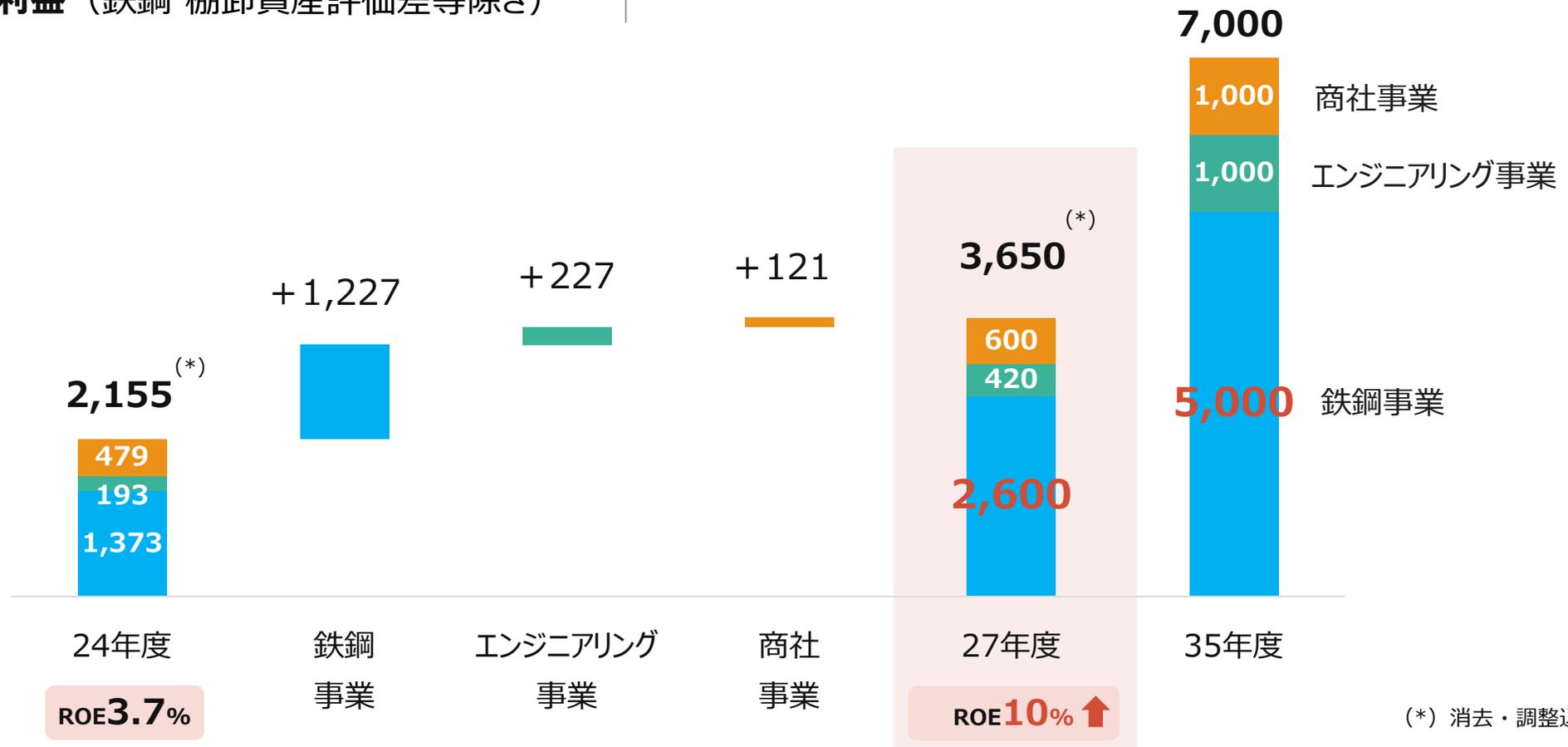
1. JFEスチールの海外事業戦略

- 国内のスリムで強靱な体制の再構築、**海外の成長分野・地域への積極的な投資**を含めた事業拡大を基軸とした、第8次中期経営計画を策定。

27年度目標：セグメント利益3,650億円

セグメント利益（鉄鋼 棚卸資産評価差等除き）

（億円）

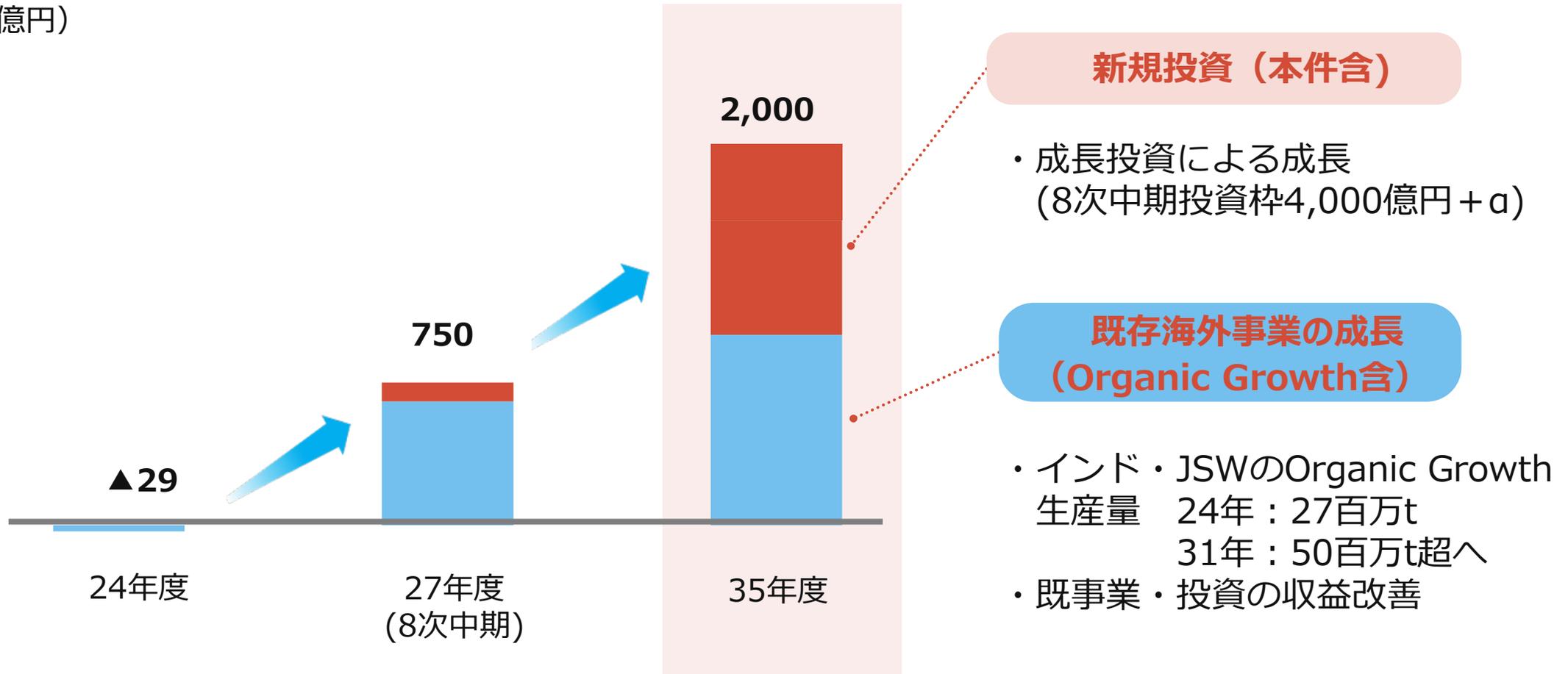


(*) 消去・調整込み

- 鉄鋼セグメント利益5,000億円に向けて、**海外事業収益2,000億円を目指す**べく、これまでに実行してきた投資による効果(Organic Growth)に加え、成長分野・地域への積極的な投資により、更なる成長を実現

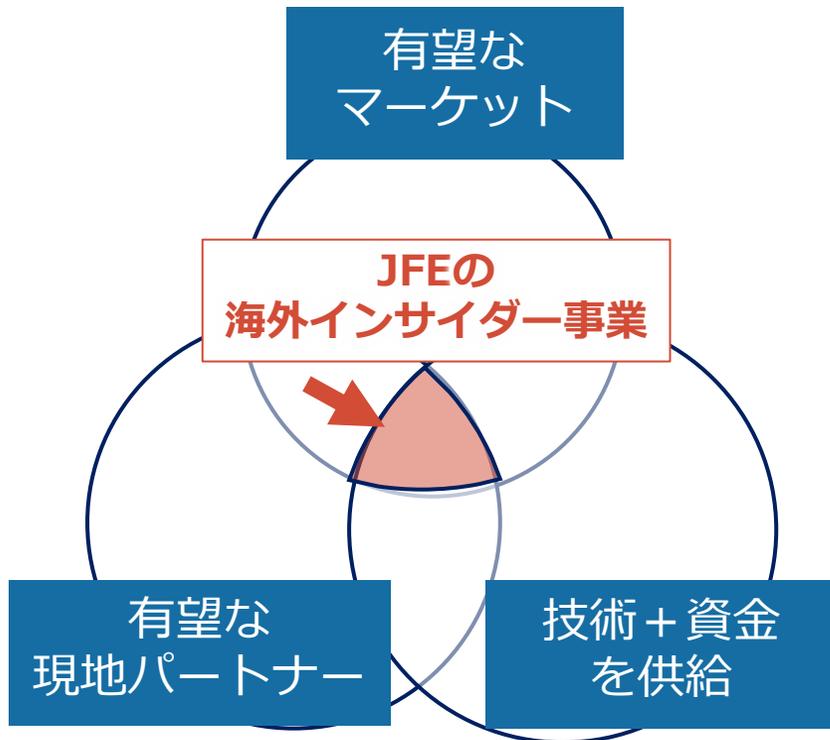
海外事業収益

(億円)



- **海外戦略の3つの柱**と合致する現地パートナーである**JSW(インド)**、**Nucor(北米)**への**技術供与・資金拠出**を通じて、**インサイダー型事業**を進めてきた。更なる拡大に向け、成長市場における海外鉄鋼需要を捕捉。

JFE海外戦略の3つの柱



有望なマーケット

- ①需要成長するマーケット（人口増、需要構造変化）
- ②安定収益を確保できる（レッドオーシャンではない）マーケット
- ③コスト優位性を発揮できるマーケット
原料・エネルギー立地、需要地立地（物流費）、地政学的条件

有望な現地パートナー

- ①信頼できるパートナー：長期にわたる信頼関係
- ②実力のあるパートナー：現地での経営能力・事業基盤・事業意欲、政治力。
- ③ビジョンを同じくしたパートナー：Win-Winを目指し共に成長、長期志向。

技術+資金を供給

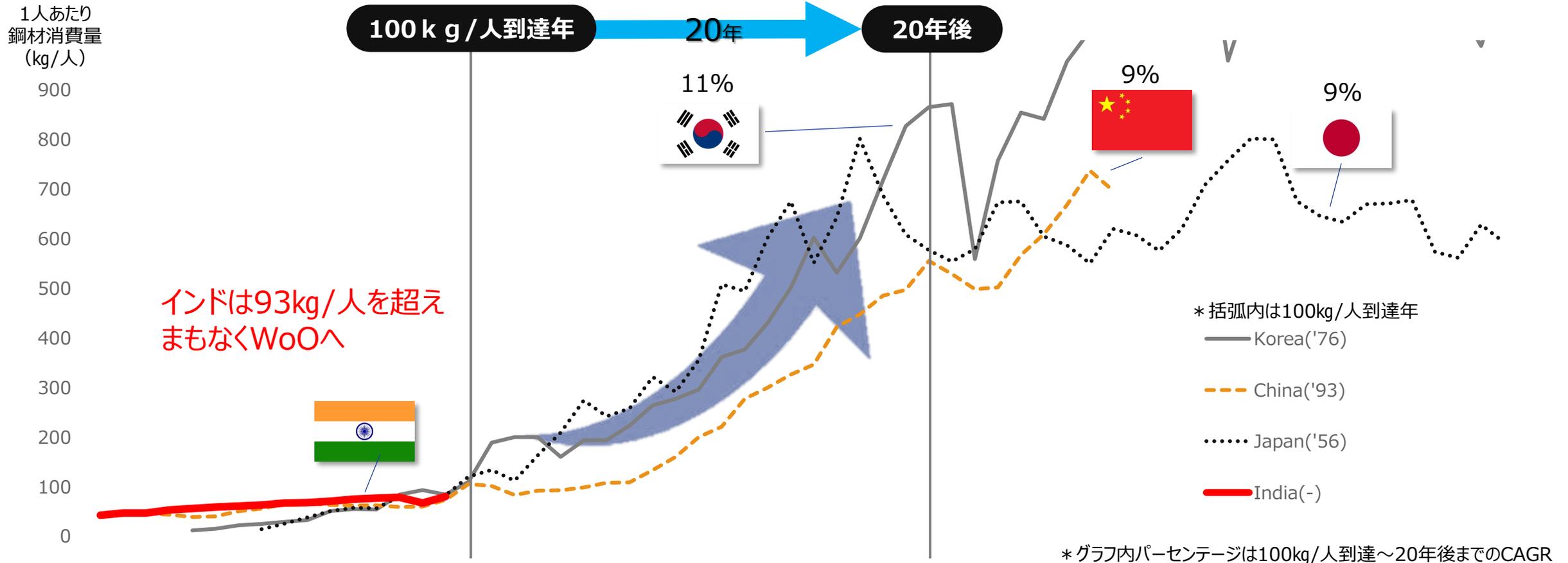
- ①単なる資金供給ではなく、技術を加える事で成功を加速する
- ②一次的な技術供与ではなく、継続的に新技術を提供し続ける。

- JFEスチールのインサイダー型事業は、**イコールパートナーシップの合併事業運営を志向**。
- 意思決定において両社合意が必要なため、**現地パートナーとの信頼関係が重要**。
- 現地パートナー〔**JSW（2009年～）**、**Nucor（2014年～）**〕と長期にわたり構築してきた信頼関係のもと、インサイダー型事業を実現

出資形態	メリット	デメリット
イコール パートナーシップ	<ul style="list-style-type: none"> ● 現地マネジメントの主体性 ● 現地パートナーの経営基盤活用 ● 両社の強みを活かしたシナジー創出・成長加速 ● 技術面のコントロール可能 ● 出資折半・リスク折半 	<ul style="list-style-type: none"> ● 意思決定に両社の合意が必要 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高度な信頼関係が必要 ・ 丁寧な会話が必要 ・ 価値観の共有が必要 ● リターン折半
独資出資	<ul style="list-style-type: none"> ● 単独意思決定可能 ● 技術面完全コントロール可能 ● リターン最大化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 現地マネジメント人材の確保が難しい ● 『本社の判断』が必ずしも『現地の事情』にマッチしていないリスク ● 資金負担・リスク大
マイナー出資	<ul style="list-style-type: none"> ● 資金負担・リソース拠出・リスク 低減 	<ul style="list-style-type: none"> ● 意思決定への影響力が限定的 ● 技術面コントロール困難 ● リターン限定的

インド鉄鋼市場の魅力 Windows of Opportunity

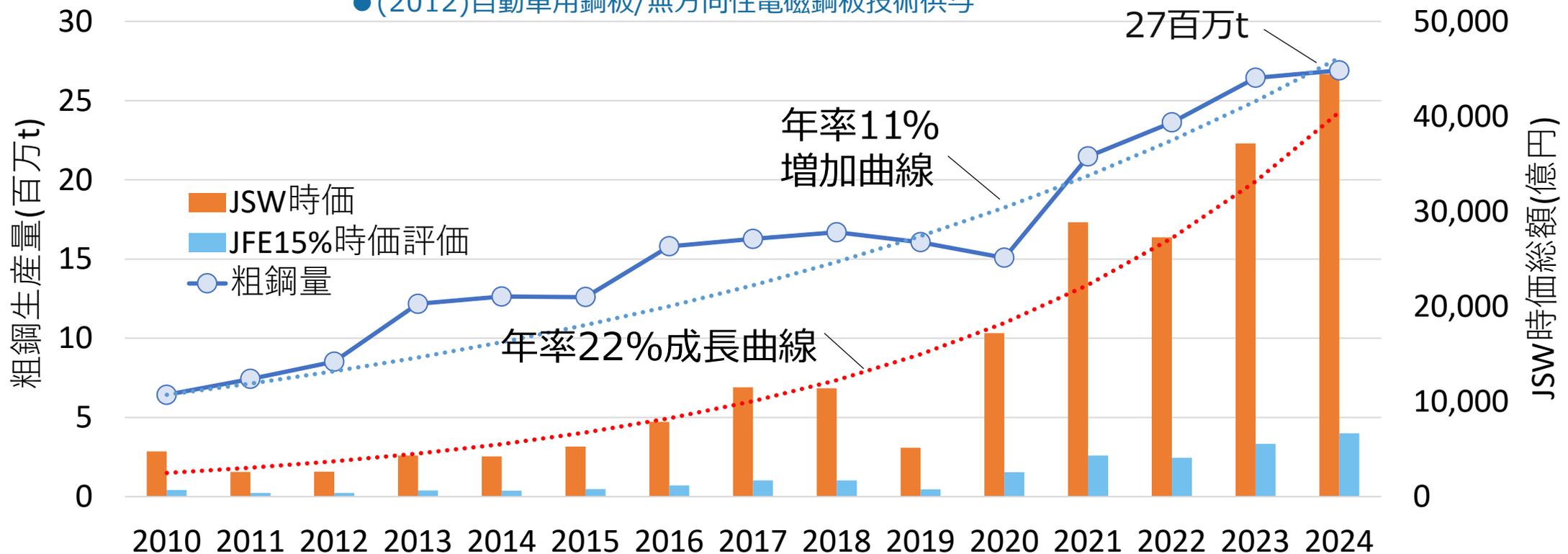
- Windows of Opportunity（鋼材消費100kg/人近辺からの成長加速）はこれまで多くの国で観測。
- インドは今後の成長が最も期待されるタイミング



- 2010年の当社出資（15%）以降、JSWの**時価総額**、**粗鋼生産量とも大幅に増加**。
- 30年目途に**粗鋼能力5,000万tレベル**を目指す計画
- **成長のWindows of Opportunityが開いているマーケットのみで、Organic Growthが実現可能**

- (2009) 戦略包括提携契約締結
 - (2010) JFE出資
 - (2010) 技術協力契約締結（以降、操業改善を主とした技術供与を継続）
 - (2012) 自動車用鋼板/無方向性電磁鋼板技術供与

- (2024)
 - J2ES - 方向性電磁鋼板合併会社 設立
 - 旧tkESI(現J2ES Nashik)共同買収



- 海外戦略の3つの柱、インサイダー型事業に沿った、**8次中期海外成長投資の第1弾として、方向性電磁鋼板生産能力大幅拡張**を決定。

JFEスチールの海外展開

インド(2011年～)

JSWスチールと戦略的提携(世界鉄鋼業界 時価総額1位)

- ・ J2ES : 印国内初の方向性電磁鋼板(23年)
一貫製造・販売会社の共同運営
- ・ J2ES Nashik : 旧tkESIの共同買収(24年)

⇒**J2ES, J2ES Nashik**

方向性電磁鋼板生産能力大幅拡張 (27年～30年度)

北米(2019年～)

NucorとのCSI社における協業(米国)
Nucorと自動車鋼板用工場新設(メキシコ)
(世界鉄鋼業界 時価総額2位)

中国(2018年～)

自動車鋼板用工場増強

UAE(2018年～)

大径溶接鋼管合併

タイ(2012年～)

自動車鋼板用工場新設
(業界初)

ベトナム(2015年～)

高炉一貫製鉄所PJ参画

インドネシア(2012年～)

自動車鋼板用工場新設

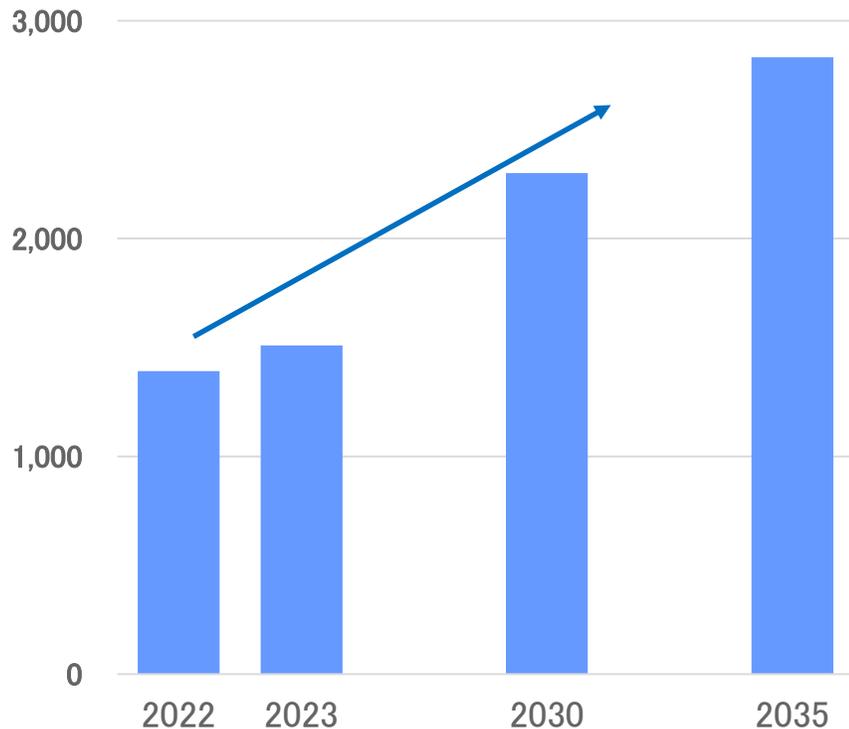
J2ES : JSW JFE Electrical Steel Private Limited

2. 方向性電磁鋼板製造能力擴張

- **インドの発電能力は7%/年で成長**。変圧器に使用される**方向性電磁鋼板需要も同等の成長**を見通す。
- インド政府による高効率化規制で**政府PJの変圧器は高級方向性電磁鋼板を主に使用**。
- 当社は、要求の高度化するインド市場へ、独自技術にて対応。

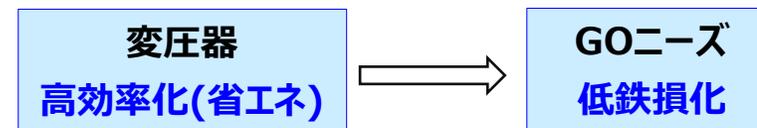
インドの発電能力見通しとGO市場の規模想定

インドの電力需要見通し (TWh) ※1

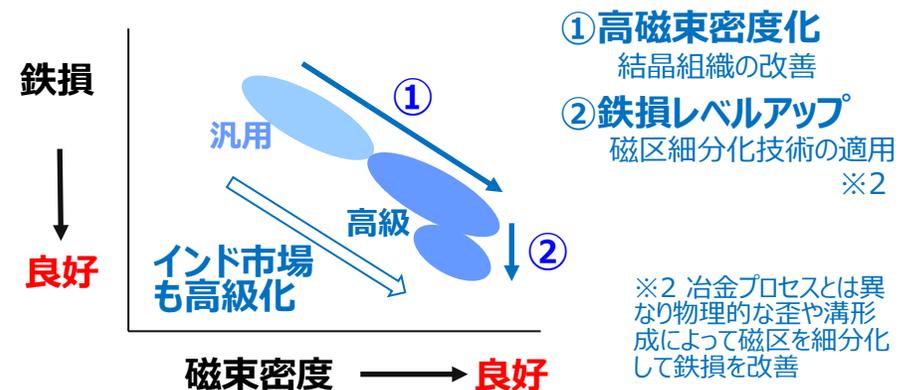


※1 IEA Energy Outlook 2024

GOへの要求性能



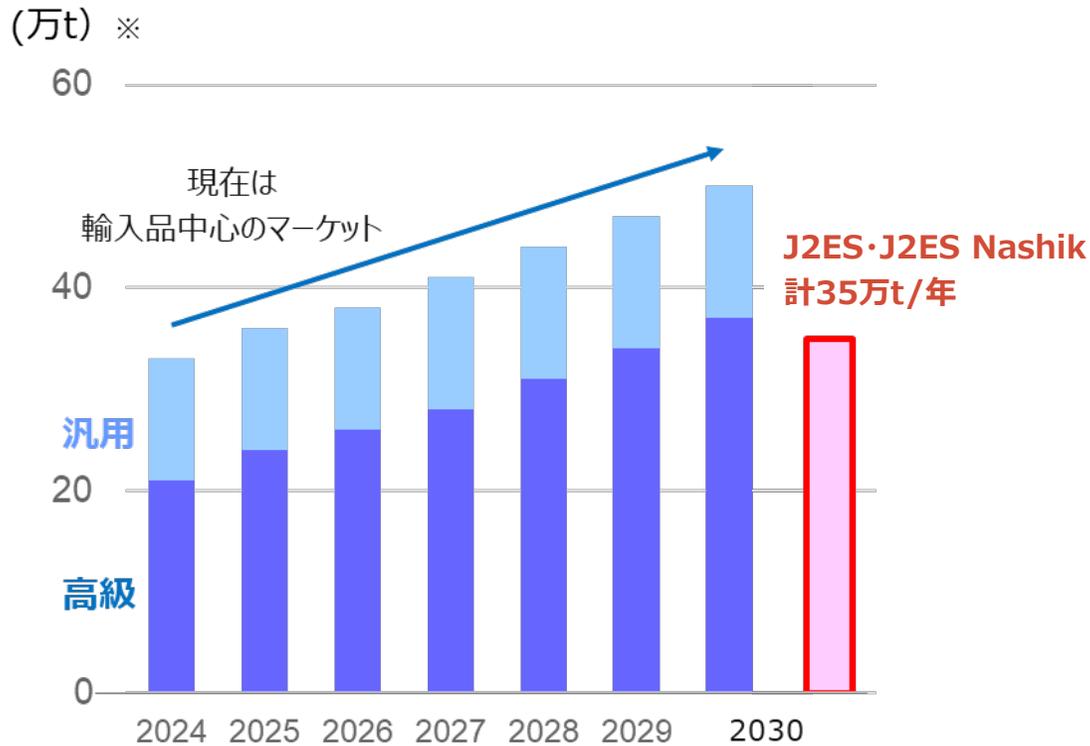
GOの低鉄損化



- ✓ 当社は、これまで国内で積み上げてきた独自技術を適用することにより、インド市場においても高級化ニーズを充足

- 電力需要増加に伴い、**方向性電磁鋼板需要も同等の成長**を見通す。
- JSWと共同設立した方向性電磁鋼板製造・販売会社（J2ES・J2ES Nashik）の製造能力を、**段階的に大幅拡張(2030年 年産35万t)**。圧倒的No.1サプライヤーの地位を確立。

インドの方向性電磁鋼板市場規模想定

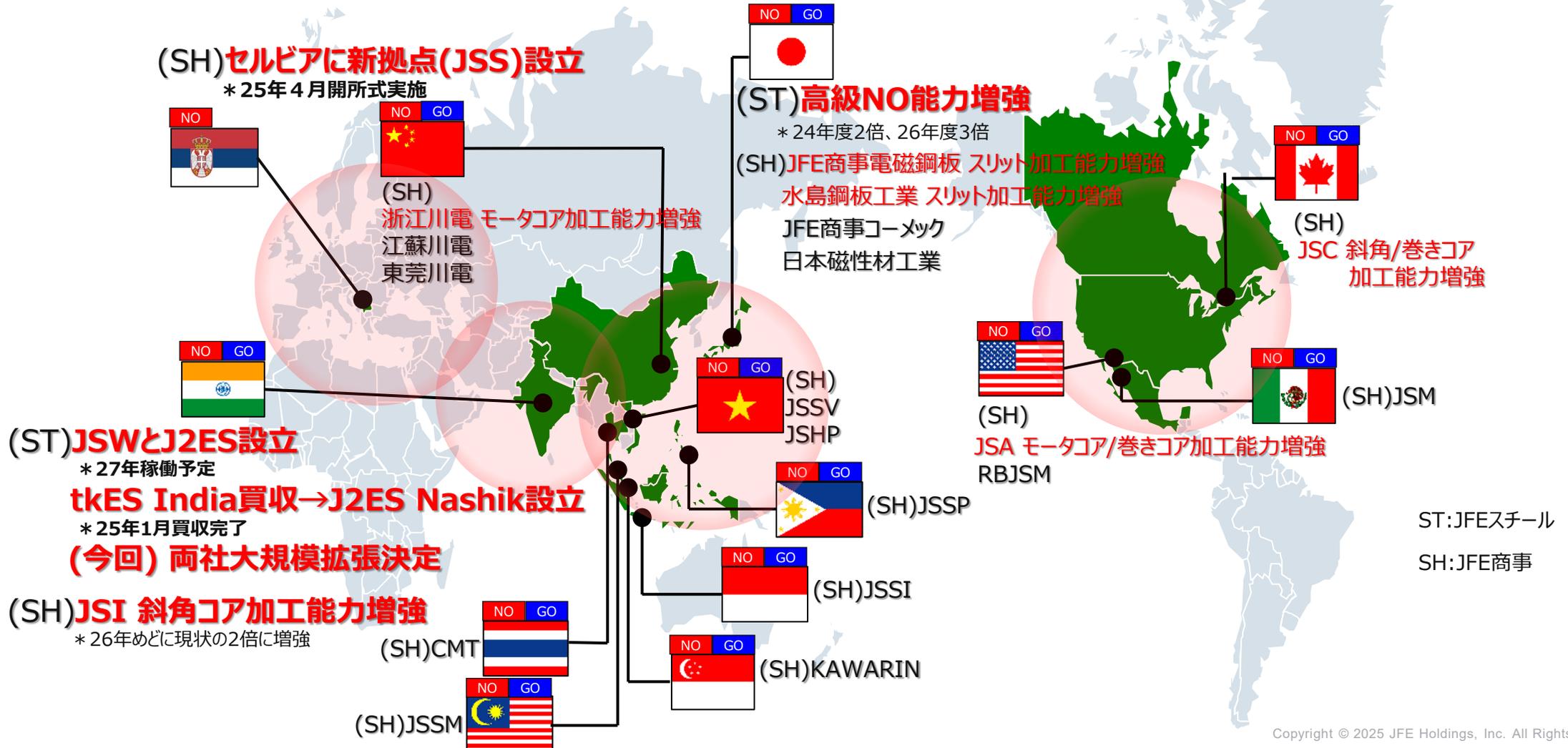


- J2ES : 当初計画から**10万tに倍増**
J2ES Nashik : **現状能力5万tを25万tに引き上げ**
→今回拡張投資：**1,200億円**
(当社負担 600億円)
- 既投資(J2ES投資 1,000億円、J2ES Nashik買収 700億円)と併せて、**累計2,900億円**を投資
- インド国内唯一の方向性電磁鋼板一貫製造メーカーとして、**圧倒的No.1サプライヤー**の地位を確立

※ World Energy Outlookを元に当社推定

電磁鋼板のグローバルサプライチェーン展開

- JFEスチールとJFE商事のシナジーにより、グローバルサプライチェーンを構築。
- 電磁鋼板需要拡大を見込む国、地域への投資を加速。



1

8次中期の海外事業収益（750億円）の達成

- ・ インドのOrganic Growth
- ・ 既存事業の投資効果の具現化により達成

2

海外事業をJFEの1つの柱に

- ・ 海外インサイダー型事業のさらなる展開
- ・ 成長投資（8次中期枠：4,000億円）を投じ、JFEの収益の柱に

3

成長する地域・分野へ

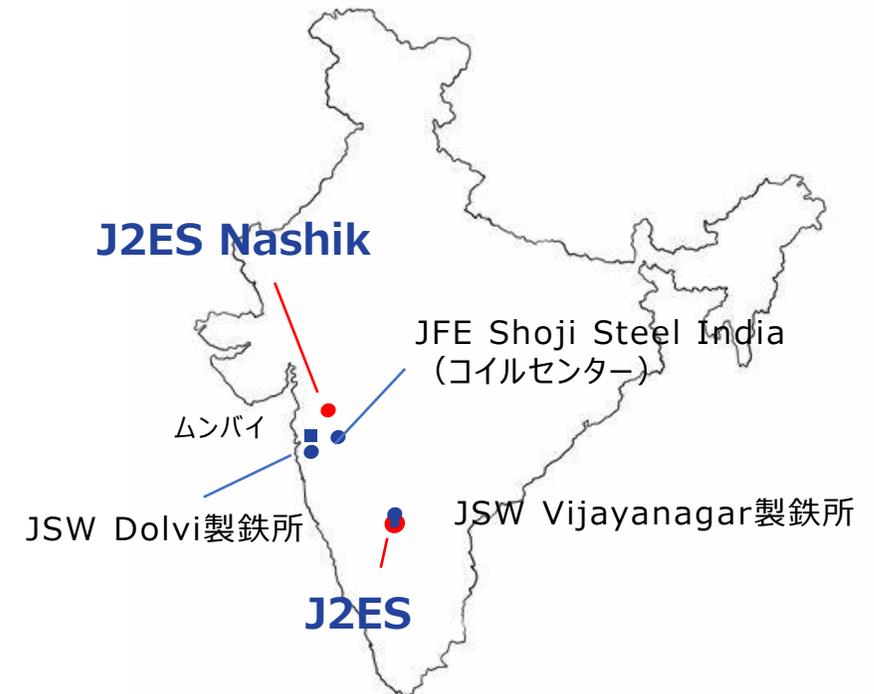
- ・ インドにおける方向性電磁鋼板生産能力大幅拡張、No.1サプライヤーの地位を確立
- ・ 海外戦略3つの柱を軸に、成長する地域・分野へさらなる展開



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
また、提示された予測等は説明会の時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。
従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。
本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

- 世界最大規模の人口を有するインドの電力需要増加により、大幅に拡大する方向性電磁鋼板のニーズを着実に捕捉すべく、戦略的アライアンスパートナーである**JSWと共同設立した方向性電磁鋼板製造・販売会社（J2ES・J2ES Nashik）の製造能力を2030年度に35万t/年へ大幅に拡張**することを決定。

会社名	JSW JFE Electrical Steel Private Limited (J2ES)	JSW JFE Electrical Steel Nashik Private Limited (J2ES Nashik)
持分比率	JFE50%、JSW50%	
既投資	約1,000億円 (’24/2投資)	約700億円 (’25/1買収)
	今回拡張投資 (*)	
総投資額 (*)	約2,900億円	
製造能力	10万t/年 (現状比倍増)	25万t/年 (現状比5倍)
	35万t/年	
稼働時期	27年度	既設：稼働中 拡張：28～30年度



(*) 投資額はJ2ES・J2ES Nashik合計, JFE・JSW両社計